



2007年

3月



動く教室

●目次

特集 エコドライブ

〈SHITEN〉エコドライブをめぐる国の動向	岡本 英晃	2
4年目を迎えた本物エコドライブー燃費改善、確かな成果	新田 保次	4
エコドライブシンポの感想から		5
エコドライブによる燃費改善効果	藤岡 太造、吉田 雄亮	6
エコドライブのすすめ(インタビューから)		6、7
“本物エコドライブ” 継続中!	谷田 成司	8
今年もやります!エコドライブ	藤江 徹	9
好評です!お試しエコドライブ	上田 敏幸	9
〈連載〉いデ・グスタ・エスパーニャ?スペインはお好き?⑤	田村 隆好	3
〈リレーエッセイ〉屋久島に行って	津留崎直美	11
〈忙中一筆〉現場で出会った人は、社長さんもドライバーさんともとても親切	吉田 雄亮	12

『大阪自転車ツアー』、『カーフリーデー』、『道路特定財源』、『物流の現場をたどるツアー』、『クルマをめぐるメディア論』、『クルマがないと何に乗る?』、『ボランティアによる運営委員の興味や関心に根ざして企画・運営してきた道路環境市民塾テーマです。1月28日、今期の講座を締めくくると『移動教室』——交通で未来の大阪を語る回。道路環境市民塾みたいな場から何かが始まる?!』を、大阪に残る唯一の路面電車・阪堺線を借り切って開催しました。

21名の参加者に乗せた車輛は天王寺駅前駅を出発。手作りのカクテルを傾けながら、今期の市民塾の話題や道中の名所にまつわるクイズ、参加者の交通まちづくりに関する興味・関心などを語り合いました。



環境再生にかかわる課題を、さまざまな視点から自由に論じるコーナーです。

特集 エコドライブ

支援機器を使った“本物”エコドライブが元気に4年目を迎えます。あおぞら財団が西淀川区のトラック事業者の協力で、わずか3台のトラックで始めた事業も大阪府トラック協会との協働という形で大きく広がりました。この事業の科学的検証と普及に向けた研究を支えてきた「河北地域エコドライブ推進研究会」(座長：新田保次大阪大学大学院教授)は、平成18年度地球温暖化防止活動環境大臣賞を受賞しました。

エコドライブをめぐる国の動向

岡本 英晃

エコドライブ普及・推進アクションプラン

2003年6月、エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)の普及促進を図るために、警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省からなる「エコドライブ普及連絡会」が設置され、普及推進施策についての検討が進められてきた。そして、2006年6月には、エコドライブの普及促進を図るための「エコドライブ普及・推進アクションプラン」が策定された。

「エコドライブ普及・推進アクションプラン」において計画されている主な事業は下記のとおりである。

- エコドライブの定義の見直し、効果指標等の確定
- エコドライブの普及・啓発活動
- エコドライブ支援装置等の普及促進
- エコドライブ評価システムの確立
- 地方公共団体及び関係団体との横断的取組み
- エコドライブ普及・推進に必要な調査等

この中で2006年度に実施されたのは、まず についての見直しが行われ、2006年10月に「エコドライブ10のすすめ」と各項目における燃費改善効果が公表された。

また、 については2006年以降毎年11月をエコドライブ推進月間とし、関係省庁及び関係機関において積極的な広報活動を行い、エコドライブの普及・推進を図ることとなった。

今後「エコドライブ普及・推進アクションプラン」にそって様々な事業が関係省庁及び関係機関で実施される予定である。

エコドライブ関連の法改正

また、エコドライブに関連する法律についても見直し等が進められており、2006年4月に改正された「エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)」においては、従来対象とされていなかった輸送分野が追加され、一定規模以上の輸送能力を有する輸送事業者(自家物流を行っている者も含む)及び、貨物輸

1 特定事業者の裾切り基準

輸送区分	輸送能力	貨物	旅客	
鉄道	車両数	300両	300両	
事業用自動車	台数	200台	バス	200台
			タクシー	350台
自家用貨物自動車	台数	200台		
船舶	総船腹量	2万総トン	2万総トン	
航空	総最大離陸重量	9,000トン		

送に係る年間の発注量が一定規模以上(全業種を対象として、自らの事業活動を伴って輸送している量が3,000万トンキロ以上)である荷主に、省エネ計画の作成、エネルギー使用量の定期報告が義務付けられた。

さらに、2007年2月には、エネルギー管理やエコドライブの徹底を目的と



エコドライブシンポ (1月31日、新大阪ワシントンホテルプラザ)

して、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」の基本方針に定める特定調達品目に「輸配送」が追加され、その判断基準として、「エコドライブを推進するための措置が講じられていること」などの措置が「第三者により客観的な立場から審査されていること」とされている。

2 グリーン購入の対象となる輸配送業務：国内向け信書、宅配便、小包郵便物、メール便

なお、これまでは運輸事業者(緑ナンバー)を中心とした施策が中心であったが、圧倒的多数を占める白ナンバー向けの普及・啓発についても今後進められる予定となっている。

(おかもと・ひであき
交通エコロジー・モ
ビリティ財団 交通
環境対策部 研究員)



世界遺産 Extremadura州メリダのローマ時代の劇場



テロリズムの存在

最近の世
論調査でス
ペイン人の
意識動向が
強かったも
のとしてテ
ロリズム、
失業、不法
移民、住宅
問題が挙げ

られていました。
その中でも最も問題意識の割合が高かったのはテロリズムに関するものでした。「平和ボケしている我々からすれば、えっスペインでテロ問題か一位?」と思われる方もいるかもしれませんが、スペインには、ETA(バスク祖国と自由)と呼ばれるバスク地方の分離独

立を求めるとテロ組織があります。

現政権 PSOE(スペイン社会主義労働者党)は昨年 ETA との対話交渉を決定、これを受け ETA は恒久停戦宣言発表、テロのない安全な国作りが進むと期待され昨年12月29日サバテロ首相は和平プロセスについて非常に楽観的な発言を行いました。しかしこれをあざ笑うかのように翌30日政府との交渉の行き詰まりを理由にマドリッド・バラハス国際空港を爆弾テロで襲い、開業したばかりの空港第4ターミナル駐車場を爆破、死者負傷者を出す事態となりました。
過去に ETA は何度か停戦宣言を行っていますが、政府との交渉に行き詰まると一方的に破棄テロに走るのが常套手段となっています。

フランコ独裁政権下で独白言語であるバスク語の使用禁止、政治的弾圧を受けてきたバスクの人々の分離独立意識の高さは分かりますが、ETA によるフランコ首相暗殺、ファン・カルロス国王暗殺未遂、何よりも800人近い民間人を殺害した行為は到底許されるものではありません。ETA が存在する限り、スペイン国民にとってテロリズムとの戦いはこれからも続くでしょう。

ETA は被害者に謝罪し、武器を捨て、交渉のテーブルに着かなければなりません。また政府はテロに屈することなく毅然とした態度で ETA との交渉を進めるべきでしょう。(たむら たかよし)

4年目を迎えた本物エコドライブ

燃費改善、確かな成果

新田 保次

確かな手ごたえ

2003年、あおぞら財団が環境省の助成を得て、西淀川区内の1事業者3台のトラックを対象に始めた音声ナビ付デジタルタコグラフによるエコドライブ支援の取組みは、2004年には3事業者10台に拡大するとともに、生活環境問題研究所が池田市の支援を得てNEDO助成により実施した池田市内5事業者の車両も加わり、30台で実施することになった。そして2005年には、さらに大阪府トラック協会河北支部も加わり、あおぞら財団、矢崎総業の3者がNEDOの助成を受け、39事業者315台を対象に実施し、現在は2年目に入っている。3台から初めて、足かけ4年、10倍、10倍と規模を拡大し、確かな手ごたえを感じている。

一石六鳥

確かな手ごたえは、参加事業者お

よびトラックの数の拡大に加えて、エコドライブ（Eco-drive）は、Eco-logical and Economical 効果のみならず、多くの複合効果及ぼしていることにより感じられた。筆者はそれを「一石六鳥」といつている。それは、

- 「大気環境改善効果（CO₂、NO_x、PMの削減）」
- 「燃料費削減効果」
- 「交通事故減少効果」
- 「交通流円滑化効果（緩やかな加減速などによる）」
- 「人格形成効果（他者への配慮、寛容性を養う）」
- 「コミュニケーション促進効果（ドライバー・事業主・運行管理者、そして家族間）」
- 「六鳥である。紙面の都合があるので、以下、燃費改善効果について述べる。

持続する燃費改善効果

2005年度はデジタルコ装着が秋以降にずれ込んだこともあり、装着前後のデータ比較が行えたのは64台であったが、このときの燃費改善率（各車のデジタルコ装着後の燃費（km/リットル）の増分/装着前燃費）の

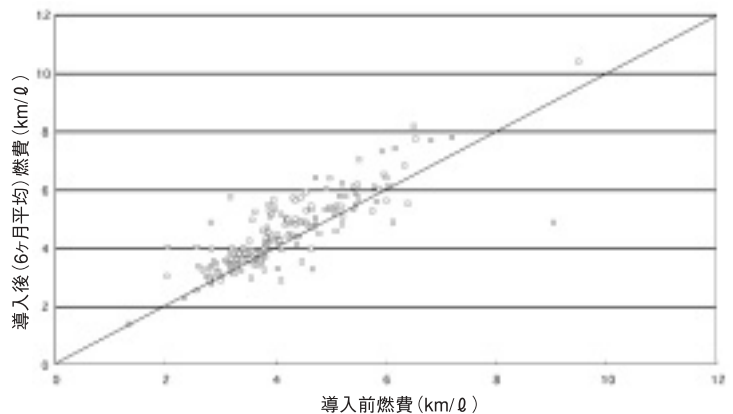


図 デジタルコ導入前後の燃費の比較（183台）

平均は10・7%であった。2年目の2006年度も継続するものかどうが不安であったが、2年目は183台からデータを得ることができ、精度が向上するとともに、改善率も10・0%を記録した。このことから音声ナビ付デジタルコの継続的なエコドライブ支援効果を確認できたといえる。ただ、これはこの器械の機能を効果的に発揮させたドライバーおよび事業者の取組みの姿勢によるところが大きいと思われる。

エコドライブシンポの感想から

39社315台にまで広がった“本物”エコドライブの2年目の成果を共有するためのシンポジウム「エコドライブ新年会」が1月31日、新大阪ワシントンホテルプラザで開かれ、130人を超える事業者、行政関係者、市民が参加。エコドライブの普及・啓発、これからの課題を探る熱い議論を展開しました。この日寄せられた感想の一部を紹介します。

生の声が聞けた

- ・バス事業者であるが、共通する部分も多く参考になりました。
- ・ビデオレター・ドライバーへのインタビューについては微笑ましくもあり、生の声が聞くことができ参考になりました。
- ・まずビデオレターのドライバーの声がとても効果があると思います。ドライバーの声を含めた導入推進のためのビデオ・啓発資料があればいいと思います。
- ・事業者の方々が積極的に事業に参加しているところがよかったです。

事故が減るとは...

- ・事故が減少し、人命に関わる点が重要だと感じました。
- ・安全面の効果については意外であったが、数値で評価できればよいと思います。
- ・デジタコの効果として燃費向上だけでなく事故の減少にもつながっている点、デジタコを通して社員教育にも展開できている点、および新田先生の報告の中にあった「交通流円滑化」という効果があるという点について新たな発見で興味深かったです。
- ・エコドライブが燃費の削減・事故の減少に効果があることがわかりました。
- ・速度を守る 燃費が上昇 事故が減る 当たり前の事が一番重要だと思いました。
- ・省エネ=エコドライブ=安全の向上=家族の安心 につながると思う。

コミュニケーションが大切

- ・ドライバーとコミュニケーションをとることが大切だと思いました。
- ・エコドライブを実施するにあたり、後のフォローが非常に大切だと思います。
- ・この研究会は、組織的に取り組んでいることにより成果がわかりやすいと思います。また、横の広がりやコミュニケーションの充実によって他社の実情を知り得ることができ、すばらしい取り組みだと感じています。
- ・デジタルタコグラフの全車両標準装備化について興味をもった。
- ・エコドライブをマイカーで実践してみようと思っても、なかなか継続できないのが現状です。その点、音声ナビ付きデジタコはゲーム感覚で安全運転ができしかも環境面、コスト面でもプラスになる訳ですから、導入を促進する手段・方法が課題だと思います。
- ・デジタコ導入に関して、運行管理者勉強会を実施してほしい。
- ・教育・指導でドライバーの意識を変えるためには繰り返して行っていくことが大事だが、報奨金を与えるという手段も悪くないと思います。
- ・エコドライブを実行するのは人であり人のつながりが大切であると感じました。



シンポジウムにあわせて作成された「エコドラ通信」

広げる、続ける、超える

今後は、このエコドライブの実証実験成果を広め、参加事業者の拡大を図るとともに、今、行っている事業者は、引き続き実施していくことが必要になる。それには、エコドラ

イブを支援する事業者内部の仕組み（ドライバーの表彰やボーナス付与など）や社会的支援（取組み事業者の表彰やエコドライブ実践方法の教習など）の充実が求められる。さらに、エコを超え、安全・安心も成果として定量化する必要があるし、事

業者を超え、自家用車も含めた地域の取組みにする必要もある。いずれにせよ、エコドライブはよりよき社会づくりに誰でも貢献できる確かな道筋かもしれない。

（に）つた・やすづく
学院工学研究科

大阪大学大

東光サービス/羯磨豊彦さん



感じて始まりまして。一番たいへんだったのは、(ドライバ―に)これまで厳しいチ

インタビューから
エコドライブのすすめ
運行管理者さん

正直な話、半信半疑で導入したのですが、第一印象は「こんなものなのかな?」という感じでした。一番たいへんだったのは、(ドライバ―に)これまで厳しいチエツクで運行させたというところがなかったのと、ドライバ―の反応が心配だったのでですが、はじめの頃は(安全運転日報で)点数が出てくると、恥ずか



中越テック/前田正博さん

しながら70点、80点で推移していましたが、さすがプロ、ドライバ―同士の競争心が出てきて、A君が75点出したら、Bは85点出す、85点取れば次は90点やと、目標を持ち良い方に競争心が働いてやってくれるようになり、問題は多々あるのですが、だいたい90点から98点の間を推移しています。当初導入した5台から7台増やし、成果が出てきています。

新聞の配送と一般貨物を大きく分けると二つになりますが、新聞配送が量的にも多いものですから、その中で新聞というのは、(販売店への)店着時間というのがありま

して、これが非常にシビアなものがあり、ドライバ―は時間を非常に気にして運転しています。実は安全の問題で(荷主の)新聞社様に、スピードをできるだけ抑えて安全運転をさせたいということ、少し店着時間をずらせていただく要望をいたしまして、結果的にスピードを10kmほど下げさせていただきました。これでデジタルコの効果もまた出てきていますし、安全にもつながっているということも良かったと思っています。

(7面へつづく)

シンポジウム「エコドライブ新年会」(1月31日開催)で披露したビデオレターから(DVD「『エコドライブのすすめ』～ドライバ―、運行管理者が語る支援機器を使ったエコドライブ」)

エコドライブによる燃費改善効果 継続性の検証を中心に

藤岡 太造
吉田 雄亮

今年度も昨年度と同様に音声ナビ付きデジタルタコグラフを用いたエコドライブの燃費改善効果について引き続き分析を行なった。昨年度までの研究においてもその効果は証明されてきた。しかし、それらの研究

での燃費改善効果はデジタルコを取り付けてから1ヶ月、2週間といった短期間の効果を表現したものであった。

10トン車、25トン車は 燃費改善が持続

燃費改善効果は当然長期的に持続されることが望ましいが、エコドライブを実践するのは人間であり、運転の「慣れ」からエコドライブの効果は薄れてくる懸念される。

そのため、燃費改善効果が長期的に継続するのかが検証する必要がある。以上のことから本研究では音声ナビ付きデジタルタコグラフを用いたエコドライブの燃費改善効果の継続性を検証することを目的としている。

まず、デジタルコ導入後の最大積載量、車両総重量別の燃費の推移について調べた。最大積載量4トおよび10ト、車両総重量25トの車両における2006年4月～9月の燃費の推移を図1に示す。なお、デジタルコ導入前の平均燃費については2004年度12ヶ月間の平均燃費を用いた。4ト車の燃費については、導入直後からやや下降しているものの、導入前の燃費と比較すると大きく改善されていることがわかる。10ト車および25ト車については、導入直後に改

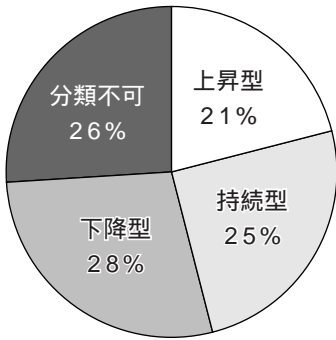


図2 燃費改善率の推移の型

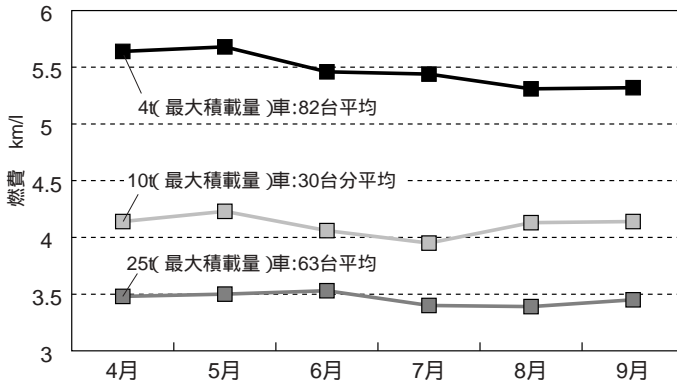


図1 燃費の推移

参考：
事業前の燃費について

4t車（82台分）：
平均4.88km/l

10t車（30台分）：
平均3.81km/l

25t車（63台分）：
平均3.29km/l

善された燃費がその後も概ね持続している。

持続傾向を維持するには…

また、各車両における燃費改善率の推移を上昇型、持続型、下降型、その他（分類不可）に分類したグラフを図2に示す。対象車両105台のうち上昇傾向を示したのは21%、持続傾向を示したのは25%、下降傾向を示したのは28%となった。多くの車両で導入直後に高い燃費改善率を示した上で上昇傾向、持続傾向を維持している。しかし、導入直後の燃費改善効果を維持できず下降傾向を示す車両も比較的多数存在するともわかった。

燃費改善効果が継続していない車両は、もちろんよくなることが望ましい。事業所として、どのような活動を行えば燃費改善効果を継続させることができるのかを明らかにすることが当面の課題である。

（ふじおか・たいぞう、よしだ・ゆうすけ 大阪大学大学院工学研究科）

佃運輸/ 柚木雅穂さん



佃運輸のドライバーから（新聞に報道されたこと）聞かされました。

即、家族で見たのですが子どもが「お父さんが新聞に載っている」ということで、学校でエコについても習っていたみたいですが、中身はよくわかってないようですが子どもがすごく喜んでくれて、新聞もって近所のひとにわざわざ見せにいくという姿を見ていて、子どもに誇れるような運転を続けていけたら良いなと思ってがんばっています。

中越テック/ 渡辺昌美さん



デジタルコ自体が第3の目のような感じがするのです。

つちゆう目の前を交差するのですが、デジタルコのおかげでそういうのがよく目に入るという、今までは「あつ危ない」ということがたくさんありましたけど、それも少なくなってきたような気がします。それと、続けるということとは

大阪高速乳配/ 寺西竜也さん



高速とか走ってもスピードを出さなから、警察に捕まることなくなくなった。そういう意味では免許もきれいなと思う。

大阪高速乳配/ 渡辺淳一さん



つけてなかったときはアクセルべた踏みでずーっとばしていたのですが、つけてからはデジタルコがうるさいので、それに押しさえて走り出しています。はじめはほかの車に抜かれて、うっとおしいなと思っていましたが、今は慣れてきました。つけてなかったときは精神的に、覆面とか警察に捕まったらいややな思いながら行っていたのですが、つけてからは「捕まることはないやろ」と気分的に楽になりました。

東光サービス/ 瀬本睦美さん



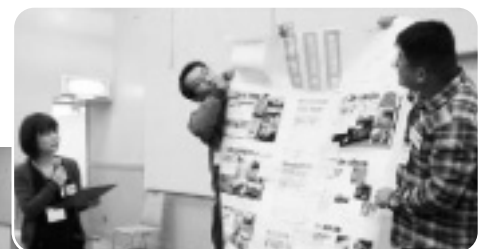
最初つけた1ヶ月ほどはうっとうしくて大変だったんですけど、なれるにしたがって安全運転するようになって、自分の乗用車の通勤の行き帰りもスピードを出さないようになっていきます。正直な話、全車に（デジタルコが）ついたらほんとにええな思っていますけど、デジタルコは安全面では最高なので。（デジタルコがしゃべってくれないと）寂しいですね。名前も付けていますから。（お名前は？笑いながら）ミヤコです。

インタビューから
エコドライブのすすめ
ドライバーさん

音声の警告を少なくするということがまず第一条件ではないかと思うのです。それを少なくして、燃料消費を少なくしたいと思います。

“本物エコドライブ” 継続中！

谷田 成司



2005年、河北地域エコドライブ推進研究会が39社315台から始めた「デジタル」を活用した本物エコドライブが広がっています。

2006年も参加事業所は継続してエコドライブに取り組んでおり、成果を実感した事業所はさらに「デジタル」の搭載車両を増やす、ドライバーとのコミュニケーションを強化するなどして、さらなる燃料、CO₂削減に取り組む、地球温暖化防止に貢献しています。この取り組みを知った各地から問合せやステッカーの提供依頼が相次ぎ、本取り組みは全国から注目され、大きく広がっています。

2006年12月9日(土)には、一般の方にもエコドライブや物流について楽しく知ってもらうことを目

的に、池田市民文化会館で、「エコドライブフェア」を開催。あいにくの雨にもかかわらず、500人もの人でにぎわいました。

池田市内小学生グループによるチアリーディングでエコドライブののぼりやステッカーが高々と掲げられイベントの幕が開くと、燃料電池車の試乗やデジタルトラック体験の他、マウンテンバイクアクロバットショーやスタンプラリーなど、会場は親子連れで大賑わい。大ト協河北支部はもちつき体験を開催、エコクッキング、わたがし体験なども行われました。

「暮らしを支えるトラック物流体験ワークショップ」と題したプログラムでは、河北支部役員の他、支部署内の8市3町から事業者、一般市



あおぞら財団・今年もやります！エコドライブ

藤江 徹

*あおぞら財団は、平成19年度も引き続き、各地域でのエコドライブ推進をサポートしていきます。「現場からの声」を土台に、きっかけづくり、調査・提言、仕組みづくりに取り組みます。

あおぞら財団・平成19年度の取り組み

河北地域エコドライブ研究会の運営

エコドライブを実践している各事業者同士がノウハウについての情報交換や課題を共有する場として、研究会を開催。行政や関係機関・荷主など様々な主体からの参加を募り、エコドライブ推進に向けての課題（表彰・認証制度、荷主へのPR、社会的認知の向上、教育プログラムツール開発など）についての検討を行う。併せて、ノウハウの共有を図るため、運行管理者向け研修会などを行う。

事業所・ドライバーをサポートする情報発信

これまでの取り組みの成果をHPやニュースレター等を通じて、情報発信していく。
エコドライブへの理解を広めるため、イベント等を通じた情報発信、運送事業者と市民との交流等をサポートしていく。

お試しエコドライブ事業の継続

事業所・ドライバーがエコドライブをはじめのきっかけづくりの一つとして、平成18年度よりスタートした「お試しエコドライブ事業（エコドライブ支援機器の貸し出し制度）」を継続します。

*関係者の皆さま、いつも様々な面でご協力いただき、ありがとうございます。平成19年度も、引き続き、皆様のお知恵やお力添えをよろしくお願いいたします。

（ふじえ・いたる 財団研究員）

民、自治体職員などが参加し、ドライバーの一日を体験。参加者は運送会社の社員に扮し、荷主からの依頼を受けて会場を所せましと移動し、荷物を運びました。「運送会社さんの話でトラックのイメージが変わった！」「ドライバーの大変さや努力を知って衝撃を受けた！」「私の生活に欠かせないものを運ぶ大切な仕事だと知った！」「トラックのエコドライブや事故など私たちにも関係

があるとかわかった！」などの意見が寄せられ、物流を身近に感じてもらうことができ、「エコドラトラック」の応援団・ファンを獲得しました。最後の大会では、池田市内企業を始め協賛団体などからのちよつと早い豪華なクリスマスプレゼントに参加者は大騒ぎ。最後まで楽しいイベントとなりました。
（たにだ・せいじ 財団法人 生活環境問題研究所）

好評です！お試しエコドライブ

～支援機器貸し出し事業～

デジタコなどエコドライブ支援機器を使ったエコドライブを体験してもらった「エコドライブ支援機器貸し出し事業」（平成18年度地球環境基金助成事業）が好評です。この事業は、温暖化防止や安全運転に効果が広く認められているエコドライブ支援機器を一定期間使用して、その効果を実感してもらおうというもの。同事業は、支援機器を使ったエコドライブの効果を自分の目で確かめたい、「試験的に導入したいが初期費用が高額で二の足を踏んでしまう」などの中小事業者の声を受けて創りました。

貸し出し機器は デジタルタコグラフ 燃費マネージャー セーフティレコーダの3つで、大阪府、は東京海上日動火災保険株式会社の協力で、すべて無償。デジタルタコグラフは2社4台に取り付け、1社が準備中です。燃費マネージャーは1社、1台に取り付けました。デジタコ2台を11月から取り付けた大阪府貝塚市のY運輸さんは、2ヶ月余りの「試用」で効果を確認、保有するトラック4トン以上の24台のすべてにデジタコをつけることになりました。

また、燃費マネージャーを会社の営業車に取り付けたKさんは、「2ヶ月半使ってみて、それまで1リッターあたり7・19kmだった燃費が8・24kmになった。機械の警告音が出るようにして、エコドライブを意識し続けるようにした。ドライバーの意識向上が継続の鍵ではないか」と話しています。

（上田敏幸、財団職員）

ほっと ニュース

公害患者さん 高校生に被害を語る

大阪府立西淀川高校
の3年生に2006年

12月15日、「公害患者さんの話を聞く会」を行いました。「環境」の授業で、大気汚染公害について学習し、リバティおおさかの西淀川公害の展示を見るなど事前学習してきた生徒たちに、森脇君雄さん（おおぞら財団理事長）、永野千代子さん（西淀川公害患者と家族の会事務局長）、岡崎久女さんの3人の公害患者さんが語りかけ、長野真一郎弁護士と財



団職員3人がサポートしました。

永野さんは注射跡を見せたり、岡崎さんは「自身もぜん息で苦しみ、お子さんもぜん息でつらい思いをしたこと、森脇さんは西淀川高校の近くにあった永大石油鉱業の大気汚染について話しました。

空気の汚れを調べてみよう

「自分たちの住むまちの空気の汚れを調べてみよう」 西淀川区内に住む子どもたちにカプセルによる二酸化窒素の測定をよびかけ、77人の子どもたちが参加しました。測定したのは2006年12月25日、26日の24時間、区内93カ所の「空気」を調べました。

結果は、72カ所は環境基準以下でしたが、大気汚染がひどくて環境基準を超えていたところが11カ所もありました。

参加者は「久しぶりに調べて、やっぱり西淀川って空気がきたないねんなーとおもいました。ふだん、考えてないだけに調べるのは大事ななと思いました」と感想を寄せています。

リレーエッセー

昨年11月、屋久島に行ってきました。うちの奥さんは、1度友人と行って以来、その景色と料理がお気に入りとなったペンションがすっかり気に入って、屋久島にはまってしまいました。そこで、私の誕生日、JALのバスデイ割引が使えるのを唯一の利用価値として連れて行かれたという次第でした。

かくいう私も、大学時代に、出身地である九州の最高峰として、あこがれの宮之浦岳に登ったことが懐かしく、喜んでついて行きました。

しかし、その思い出は40年近くも前のこと、今のように縄文杉ももてはやされておらず、安房という港に船で上陸した後、ひたすらトロッコ軌道を歩き、ヒーヒー言いながら、「屋久杉もあつたなあ」という記憶の中で、宮之浦岳の頂上を目指しました。山小屋で2泊した後、山を降り、永田というところで、公民館に泊まり、地元の人から盆踊りに誘われるという牧歌的な旅でした。ところが、今回空港に降り立つと、しゃれたイタリアンレストランあり、またホテルやペンションがあちこちにあるという様変わりです、全くの浦

屋久島に行って

津留崎直美

島太郎の思い出でした。さて、問題の山ですが、結局は、雨をいいことに、本格的な登山を避け、白谷雲水峡、ヤクスギランドといったところのトレッキングに留めました。

いずれのルートも一定のところまでは木道があるなど、いかにも観光ルートでしたが、少し奥に行くと、本当の山道となり、土砂降りの中を行くには一寸心細くなり、もとの木道に戻ってほっとするといった有様でした。

以前、日弁連でもエコツアーの問題をテーマとしてシンポを行いました。自然保護とレジャーとの関係は悩ましいものです。景観のすばらしい自然に誰でも接することができることも、その自然を残していくこともどちらかだけが大切と割りきれないとの思いを最近感じるようになりました。

20才代の若い頃は、この自然に触れる権利は、自分の脚で登る者だけだとの思いでしたが、この歳になると、そのような考えは不遜ではないかとの思いもします。元気な者だけがその権利を持っているのではない。こんな思いで、木道と山道を歩きながら考えました。

（つるさき なおみ・弁護士）

- 2日(土) 尼崎公害裁判差止め勝判決七周年記念集会(参加)
「とよなか市民環境展2006」(河北地域エコドライブ推進研究会) X(3日、出展)
- 3日(日) 倉敷公害裁判和解10周年記念式典(参加)
- 4日(月) 西淀川患者会転地療養(5日、参加)
- 6日(水) 地域からすすめる参加型まちづくりシンポジウム第3回企画会議
- 7日(木) 韓国大田市グリーンコリアとのNO2カプセル調査設置
- 8日(金) 韓国大田市グリーンコリア視察受入
拡大事務局会議所内学習会(報告者:林)
韓国大田市グリーンコリアとカプセル回収と懇親会
エコドライブフェア~知っとく、なっとく、設けとく~開催(池田市民文化会館)
日韓環境運動交流集会(参加)
- 9日(土) 地球温暖化防止IOSAKAアクション2006(ブース出展)
- 10日(日) 事務局会議
- 12日(火) 千本地区視察(北条まちづくり)
- 13日(水) てづくりせつけん教室
- 14日(木) 第61回西淀川道路環境対策検討会
- 15日(金) 第9回地域資料シンポジウム準備研究会
大阪府立西淀川高校3学年年行事「西淀川公害患者の方のお話を伺う会」
矢倉海岸定例探鳥会
- 16日(土) 事務局会議
- 19日(火) 資料館定例会議
道路環境市民塾運営会議
- 21日(木) 大阪大学土木工学科2年生授業受入
尼崎道路連絡会(参加)
大阪市立大学都市研究プラザ開設記念都市研究プラザウィーク
都市研究プラザ開設記念国際シンポジウム
(21世紀の都市像・政界都市・創造都市・持続可能都市・X(参加)
水島協同病院呼吸ケアプログラム結果報告会(慢性気管支炎・肺気腫患者対象)
水島協同病院呼吸ケアプログラム検討会
ESTステークホルダー会議(参加)
- 25日(月) 事務局会議
- 26日(火) 空気の汚れを調べてみよう(NO2測定)にしようがわ子どもエコクラブ
社会排除とコミュニティケア研究会12月研究例会(参加)
- 27日(水) 忘年会
- 28日(木) 第32回西淀川地域研究会
仕事おさめ・大掃除

12月 事務局日誌 1月

- 5日(金) 仕事はじめ
- 9日(火) 第10回西淀川地域再生研究会
十三公園事務所来所
拡大事務局会議
- 10日(水) ECOネットよどがわ運営会議(参加)
- 12日(金) 第10回フードマイレージ教材化研究会
- 13日(土) ガン・カモ調査(参加)
大阪社会福祉史の市民講座シリーズ5「第3回:自立思想の源流をさぐる - 中村三徳と大阪自強館 -」(参加)
第9回四日市環境再生まちづくり市民講座(参加)
- 15日(月) 西淀川保健センター地域保健福祉課地域活動に関するヒアリング調査
西淀川公害患者と家族の会新春顔合わせ(参加)
- 16日(火) 事務局会議
所内学習会(講師:上月康則先生)
水島協同病院呼吸ケアプログラム検討会
資料館定例会議
- 17日(水) 花粉症調査ワーキング会議
アスベスト国家賠償訴訟第3回裁判弁論・報告集会(参加)
- 19日(金) 第41回西淀川公害に関する学習プログラム作成研究会
佐川急便ステークホルダーダイアログ(参加)
- 20日(土) 矢倉海岸定例探鳥会
徳島市ecoリーダー会来訪
- 21日(日) 第35回公害環境テ
- 23日(火) 地域からすすめる参加型まちづくりシンポジウム第4回企画会議
事務局会議
- 24日(水) 平成18年度高齢認定患者リハビリテーションプログラムの開発に関する調査研究
呼吸ケアプログラム検討会
- 25日(木) 全史料協近畿部会例会(参加)
- 26日(金) 大野川緑陰道路の教材づくり研究会
社団法人西淀川区医師会への調査協力申入(平成18年度高齢認定患者リハビリテーションプログラムの開発に関する調査研究)
ESDセミナー(参加)
- 27日(土) 平成18年度高齢認定患者リハビリテーションプログラムの開発に関する調査研究
「活動」向上プログラム作業グループ第1回会議
第3回ESTステークホルダー会議(参加)
- 28日(日) 水島協同病院呼吸ケアプログラム結果報告会(気管支喘息患者対象)
第 期 道路環境市民塾 打ち上げ 『貸切チンチン電車で行く 交通で未来の大阪を語る回 - 道路環境市民塾みたいな場から何かが始まる!? -』
事務局会議
- 30日(火) 西淀川公害患者と家族の会「いきいきリラックス教室」開催に向けた打合
- 31日(水) 平成18年度NEDO技術開発機構「新エネルギー・省エネルギー非営利活動促進事業」
シンポジウム「エコドライブ新年会」-発表します!2年目の成果-

【編集後記】

年度末、なにかと気ぜわしく、今までついつい後回しにして来た仕事
が容赦なく次々と襲いかかってきます。遅めのインフルエンザが流行して息
子の学校も学級閉鎖が伝播しています。早いもので我が子も6年生、座布
団の方が大きかった背丈もずいぶん伸びて、ぜんそくも減多になくなり
ました。水泳にラグビー、治療と並行して体を鍛えてきた成果でしょ
うか?春からは中学生。どきどきわくわく、なによりも元気で過ごしてほし
いナ。(T)

お知らせ

定員...300名(どなたでも参加で
きます。要申込、申込先はあ
おぞら財団へ
参加費...1,000円(資料代、学
生割引あり)
特別講演 大久保昌一氏(大阪大学
名誉教授、都市論・行政論)
基調講演 大久保規子氏(大阪大学
大学院法学研究科教授、環境法・行政法)
まちづくりタウンミーティング
テーマ『わたしのおおさか、こんな
まちにしたい!』
司会 植田 和弘氏(京都大学大
院経済学研究科教授、環境経済学)
コメンテーター
大久保規子氏
塩崎 賢明氏(神戸大学大学院自
然科学研究科教授、都市計画)

大阪府立西淀川高校3学年年行事「西淀川公害患者の方のお話を伺う会」
矢倉海岸定例探鳥会
事務局会議
資料館定例会議
道路環境市民塾運営会議
大阪大学土木工学科2年生授業受入
尼崎道路連絡会(参加)
大阪市立大学都市研究プラザ開設記念都市研究プラザウィーク
都市研究プラザ開設記念国際シンポジウム
(21世紀の都市像・政界都市・創造都市・持続可能都市・X(参加)
水島協同病院呼吸ケアプログラム結果報告会(慢性気管支炎・肺気腫患者対象)
水島協同病院呼吸ケアプログラム検討会
ESTステークホルダー会議(参加)
事務局会議
空気の汚れを調べてみよう(NO2測定)にしようがわ子どもエコクラブ
社会排除とコミュニティケア研究会12月研究例会(参加)
忘年会
第32回西淀川地域研究会
仕事おさめ・大掃除

お礼

新田 保次氏(大阪大学大学院工
学研究科教授、交通システム)
赤司真智子、天野憲一郎、井奥圭介、
井関和彦、植田和弘、上田幹枝、上
杉剛、遠地昭典、遠藤宏一、大久保
昌一、大阪人権博物館(有)大阪フア
ルマ・ブラン、大野幸子、奥村昌裕、
寄附・寄贈者(敬称略)
左記の方々から寄付・寄贈をいた
だきました。(2006年12月・2
007年1月)心から御礼を申し
上げます。
小田康徳、柏原純夫、片岡直樹、金
谷邦夫、国田裕子、熊本中央法律事
務所、小池信太郎、(株)神戸製鋼所、
小林俊康、是枝洋、佐賀朝、酒井健
一、澤井余志郎、塩貝隆夫、(株)シヨ
イツクス、庄谷邦幸、新横田基地公
害訴訟団・弁護士、敦賀短期大学地
域交流センター、全国公害患者の会
連合会、辰巳正夫、田中鈴代、電力
労働運動近畿センター、中島晃、中
路賢、中辻喜代司、なにわ保健生活
協同組合、西尾哲茂、西口勲、西村
聡、新田保次、野尻節雄、浜一事務
機器販売(株)、平井史子、福本富男、
堀正子、牧洋子、松田敏宜、松村暢
彦、宮崎悦子、村松昭夫、柳沢健一
郎、山川昭次、山崎圭一、(株)山崎シ
ヤリーング、吉村良一、米田憲司

『Libella』No.95 2007年3月号(隔月1日、年6回発行)
発行所 (財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
編集人 上田敏幸
大阪市西淀川区千舟 1-1-1 あおぞらビル4階
Tel.06-6475-8885 Fax.06-6478-5885
http://www.aozora.or.jp/
E-Mail webmaster@aozora.or.jp
印刷所 あゆみコーポレーション
定 価 一部400円(郵送料込み)
会員の購読料は会費に含まれています。
郵便振替口座 00960-9-124893(加入者名 あおぞら財団)
乱丁・落丁はお取り替えします。本紙掲載記事の無断転載を禁じます。



1981年6月9日愛知県犬山市生まれ。大阪大学大学院工学部工学研究科修士2年。新田保次教授の研究室で2年前から「エコドライブ」に関わる。39社315台に広がった「現場」で「人」に会い、データを集めて「河北地域エコドライブ推進研究会」に報告した。

よし だ ゆう すけ
吉田 雄亮

現場で出会った人は、社長さんもドライバーさんもとても親切

エコドライブとの出会い

先輩の竹内（雄亮）さんに連れられて財団へ行ったのですが、挨拶もろくにできなくて…見ることに、聞くことども初めのことばかりで、立っているのがやっとなという状況でした。

もっと迫力があつたのは、エコドライブに関わる人、なかでも社長さんの存在にはいつも圧倒されました。経営者などとお目にかかったことありませんでした



し、トラックの社長さんってなんか目つきが鋭くて、もつとビビりまくってました。なんか変なこととして、家の前にトラックが横付けされたらどうしようと思いに考えました。

でも、実際は違ってました。走行中の二酸化窒素の排出量を調べる2年前の実験に協力していただいた信賞運輸では、早朝4時、5時に起きて実験装置に必要な20kgを超えるバッテリーを2個積み込んで、ドライバーさんと同乗調査するのですが、データがうまく取れない日もあつたり…。

現場が人をつくる

ドライバーさんも若い社長さんもとてもやさしいんです。

このドライバーさんは建築資材を現場に運ぶ仕事をしておられるのですが、現場の状況に合わせた荷下ろしと積み込み作業もドライバーさんの仕事なんです。だから、荷物を運ぶだけでなく現場でのコミュニケーションが欠かせないんです。きつと仕事の現場が、あつたかい

人間味をつくり出しているのではないかなと思います。

エコドライブの現場で出会った人は社長さんもドライバーさんもみんなとても親切でした。若い学生になんでこんなに親切なのか、逆の立場だったら自分できらるだろうか？正直、自信がありません。

ヤバいくらい幸せ

家で寝転がってテレビを見ている、そこに缶ビールがあればいいことなし、ヤバいくらい幸せです。当然ですが、今は封印して必死で修士論文と格闘しています。ひたむきにエコドライブに取り組むドライバーさんや運行管理者さんにも少しも喜んでいただき、お世話になった人たちに少しでも役に立つことができたらうれしいです。

自分は将来、友達に対しても、家族に対しても「他人が喜んでくれるようなことをしたい」と願っています。いまの作業をその第一歩にしたいと思っています。（談）